

平成29年9月第4回松阪市議会定例会

請願文書表


受理番号	請願第5号
受理年月日	平成29年9月14日
件名	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書
請願者の住所及び氏名	松阪市殿町1563番地 松阪市PTA連合会 会長 前田 則生 松阪市飯南町粥見566番地 三重県松阪市小中学校長会 会長 中西 信治 松阪市小津町577番地3 三重県松阪市幼稚園長会 会長 寺田 英子 松阪市垣鼻町1528番地4 三重県教職員組合松阪支部 支部長 濱口 洋子
請願要旨	別紙のとおり
紹介議員	橘 大介 殿村 峰代 栗谷建一郎 楠谷さゆり 中島 清晴 久松 倫生

教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充
を求める請願書

提出 平成 29 年 9 月 14 日

松阪市議会議長 山本芳敬様


紹介議員

中島清晴 

楠谷さゆり 

楠 大介 

提出者

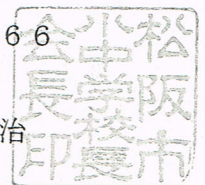
久松倫生 


三重県松阪市殿町1563
松阪市PTA連合会
会長 前田 則生



栗谷建一郎 

三重県松阪市飯南町粥見566
三重県松阪市小中学校長会
会長 中西 信治



殿村峰代 

三重県松阪市小津町577-3
三重県松阪市幼稚園長会
会長 寺田 英子



三重県松阪市垣鼻町1528-4
三重県教職員組合松阪支部
支部長 濱口 洋子



請願の趣旨

子どもたちの「豊かな学び」の保障にむけ、教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充をおこなうよう決議いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。

請願の理由

2011年4月の「義務標準法」改正により、小学校1年生の35人以下学級が実現し、2012年には、法改正による引き下げではないものの、小学校2年生への実質的な拡大が実現しました。三重県では、現在、小学校1・2年生の30人学級、中学校1年生の35人学級が実施されています（いずれも下限25人）。しかし、その他の学年については、義務標準法にしたがって、40人学級が基本となっています。経済協力開発機構（OECD）加盟国と比較すると、日本の1クラス当たりの児童生徒数は小学校27人、中学校32人と、平均（小学校21人、中学校23人）を大きく上回っています。

教員が教科指導・生徒指導・部活動指導等を一体的に行う「日本型学校教育」は国際的にも高く評価されている一方、複雑化・多様化する課題が教員に集中し、より教員の多忙化を招いています。松阪市においても、フィリピンをはじめ、外国につながる子どもたちへの日本語指導や、「障害」のある子どもたちに対する支援など、個々の子どもたちに合わせた対応が求められています。教職員の加配定数は、そのときの財政状況に強く左右されます。教育の諸課題に対応し、子どもたち一人ひとりに向き合うためには、少人数教育の推進を含む計画的な教職員定数改善によって、安定的な基礎定数を確保することが必要です。

2013年における日本の教育機関に対する公財政支出は、対GDP比3.5%で、OECD加盟国平均4.8%に及びません。教育予算を拡充し、教職員配置の拡充も含めた教育条件の整備をすすめていくことが、山積する教育課題の解決をはかり、子どもたち一人ひとりを大切に、子どもたちの豊かな学びを保障することにつながります。

以上のような理由から、教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を強く切望するものです。